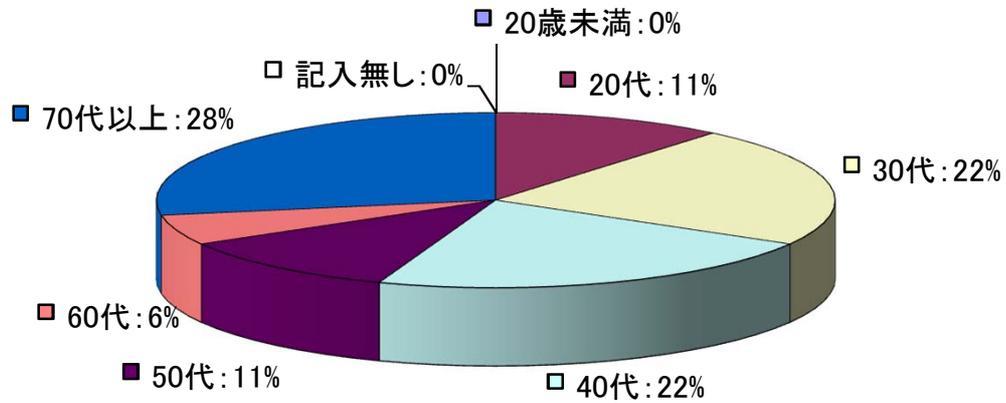


第29回 宮崎海岸市民談義所 アンケート結果

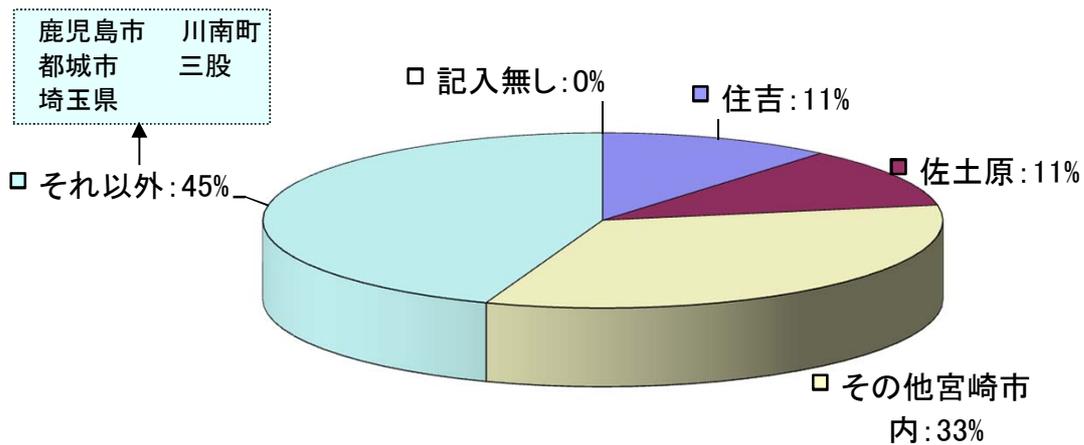
(第29回談義所: 2015年12月4日(金)19時00分~21時00分実施、アンケート回収数:18)

1. あなたのことについて教えてください

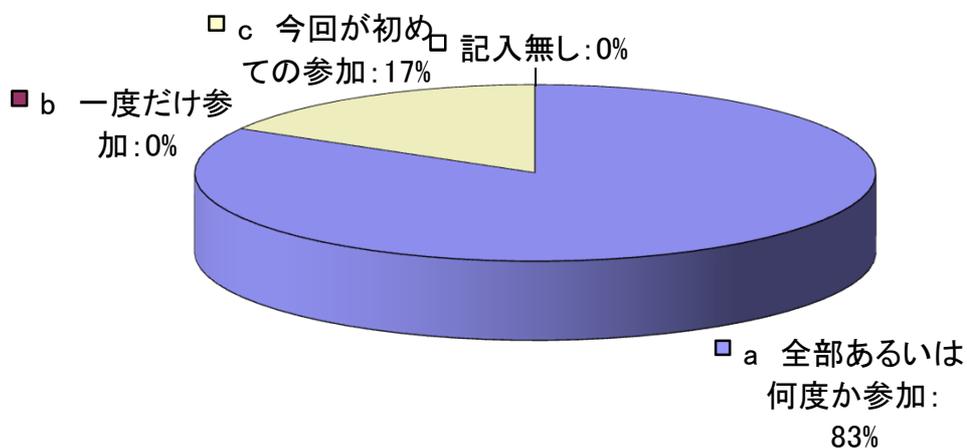
1-(1) 年齢は？



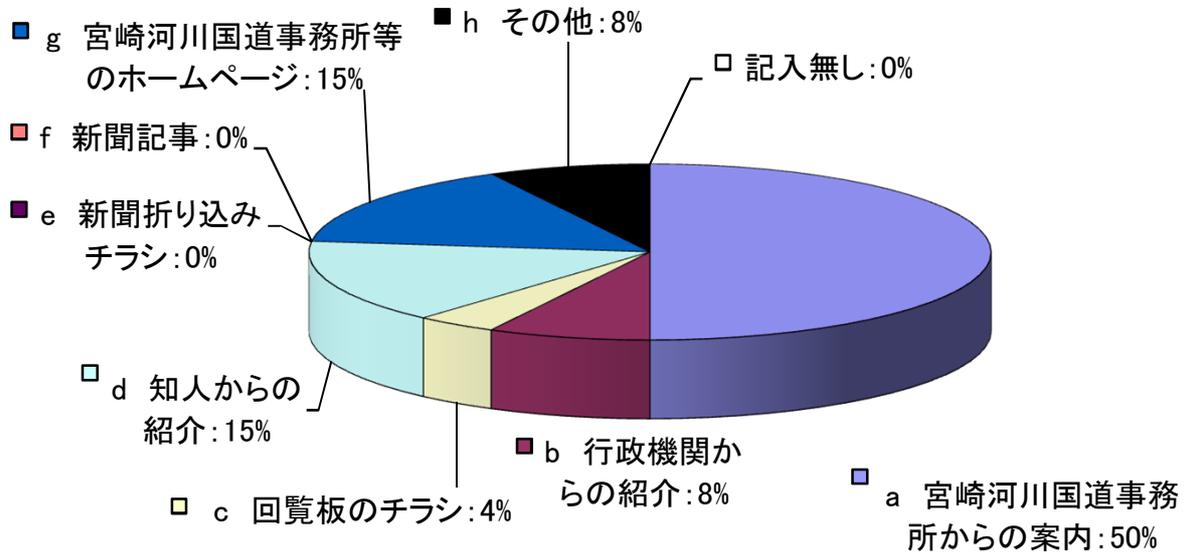
1-(2) 住んでいるところはどこですか？



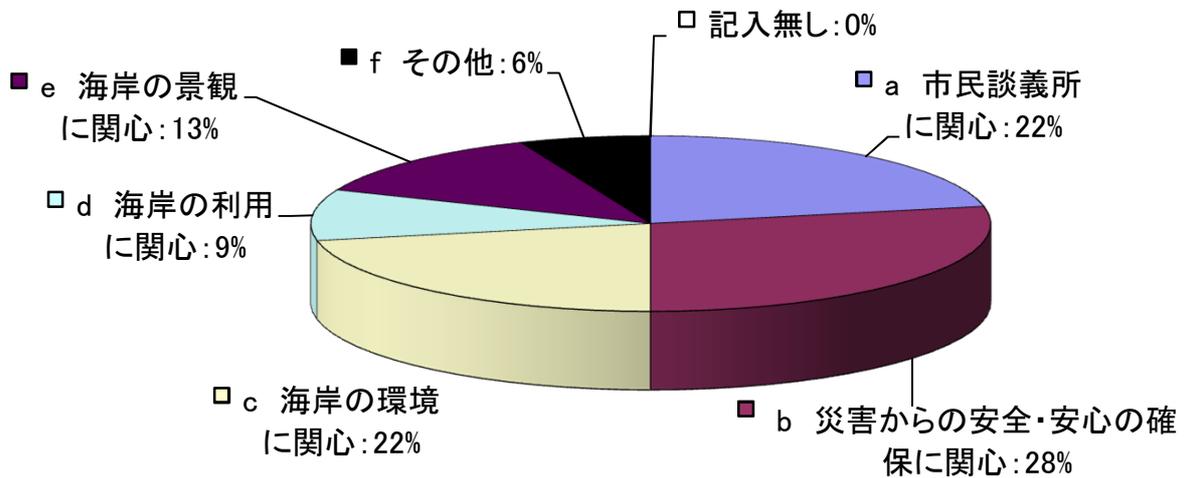
1-(3) これまでに参加したことはありますか？



2. 市民談義所を何によって知りましたか？ (複数回答)

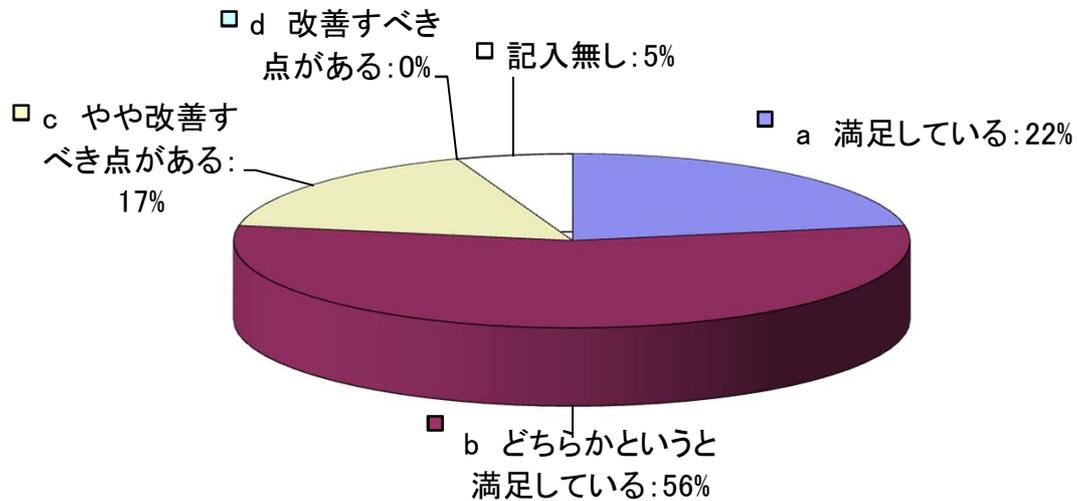


3. 今回参加された動機は何ですか？ (複数回答)



<■f その他ご意見>
・砂浜の復旧に関心があった

4. 今回の市民談義所の満足度は？ (複数回答)



a 満足している(理由)

- ・これからも、スライド、写真で説明した方が良いと思う
- ・動画説明によってより解り易かった。

b どちらかという満足している(理由)

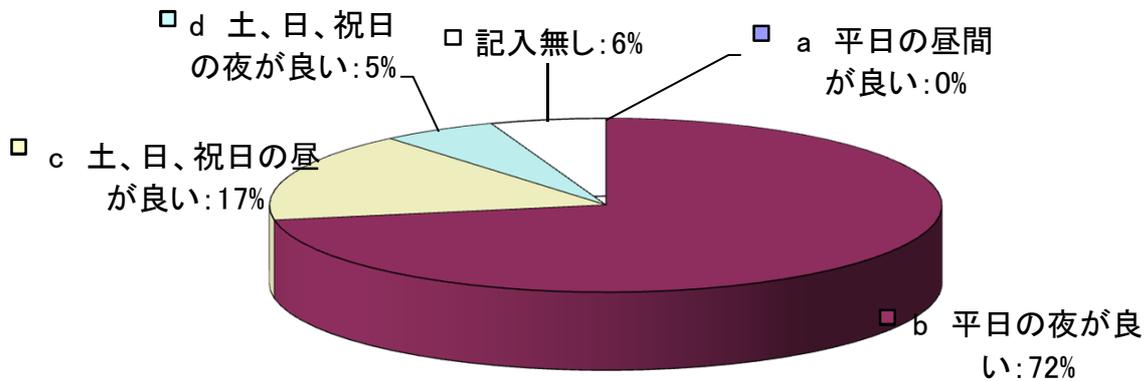
- ・大変勉強になりました。
- ・県の方の説明はわかりやすかった。
- ・設計の考え方がわかったから
- ・空撮を使用した資料は今後もお願いしたい
- ・談議の進行を想定して答えを用意していればもっとスムーズになるのでは？
- ・コーディネーターの働きは大きいと思う

c やや改善すべき点がある(提案)

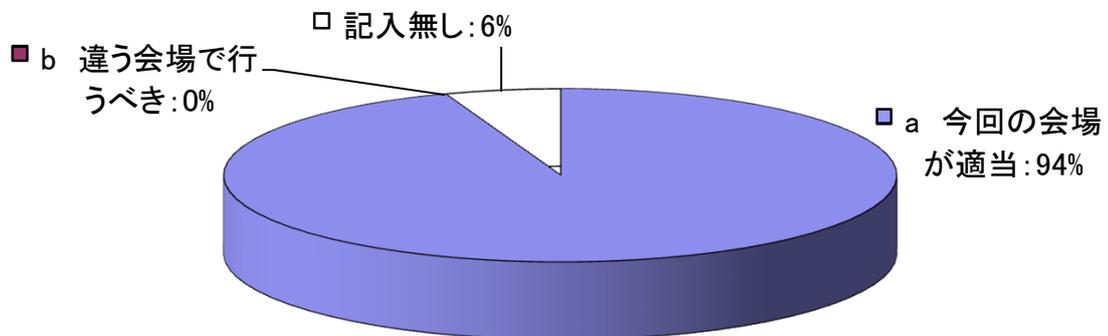
- ・突堤の再確認
- ・時間が短すぎる

5. 市民談義所の運営に関して

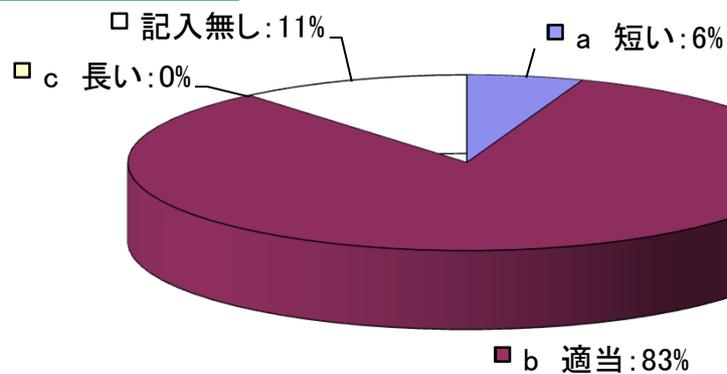
5-1) 実施する曜日と時間について (複数回答)



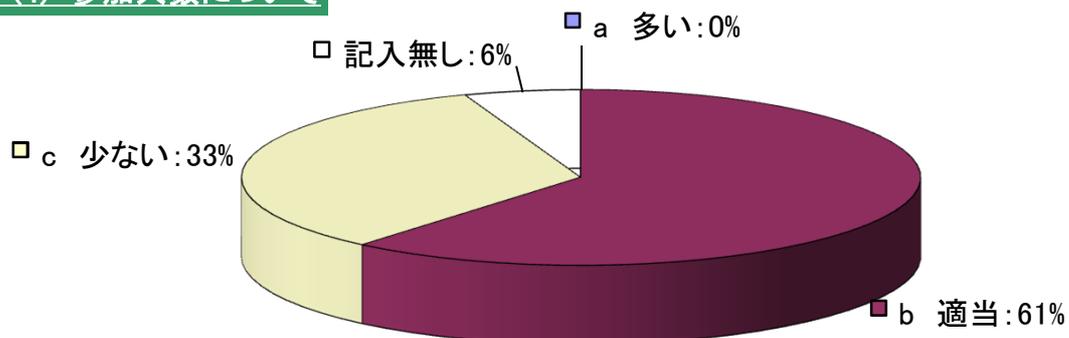
5-2) 会場について



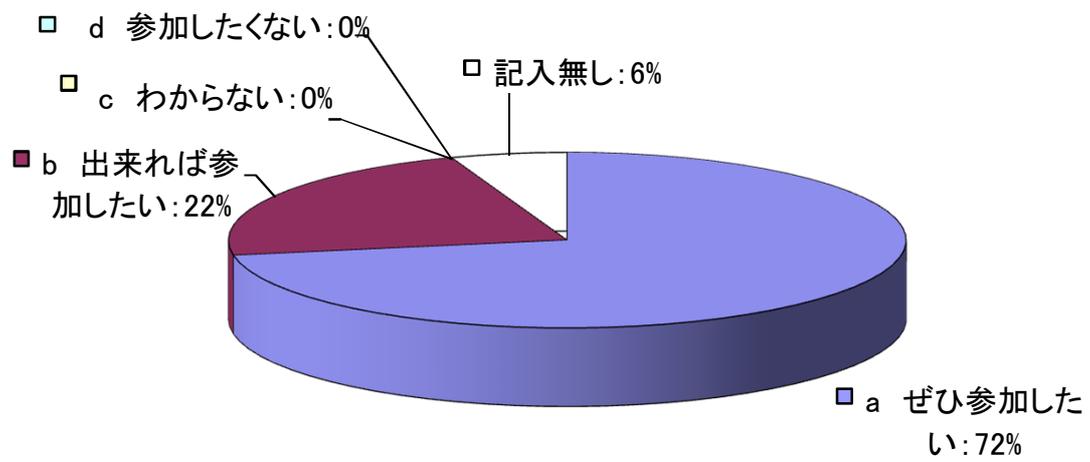
5-3) 時間の長さについて



5-4) 参加人数について



6. 次回、市民談義所への参加の意向



7. その他、市民談義所の進め方等についてのご意見

<宮崎海岸の侵食対策について>

- ・浜幅50mは程遠い
- ・この事業の考え方を変えないと同じことの繰り返し、毎年のように災害復旧が出てくるのでは。
- ・侵食の原因は生態系を破壊した滑走路、港、ダムにあり、バランスを維持した供給の砂が現在0。復元(50m)しようとする状況での三点セットの突堤は是非とも必要と今回初めて南側からの砂を補助する為にも補助突堤が欠かせないとおっしゃるけど現実南側からの砂は全て0に等しい(大淀川からの砂は0という意味も)300mの突堤の完成モデルが800m滑走路が暗示している様に両脇に砂が付いていません。砂が付くと云う確証がない限りこれ以上の生態系の変形は謹んでほしい。又、将来サーフィン会場か天然プールを創設する為に是非突堤が有れば助かるとおっしゃるのでしょうか。
- ・突堤のシミュレーションの結果をもっと強く示すべきではないかと思われませんが、漁協の件について、どうするのか全く先が見えない状況だと話が進められないですし、漁協の方々が談義所に出てくることは無いと思われしますので、海浜が作られることで起こると考えられる生物的メリットを洗いなおす必要があるかなと思いました。今のままじゃ説得できないでしょう。

<浜山護岸の復旧について>

- ・浜山防潮護岸工の復旧は談義所での質問・意見を軽く考えている(真剣さが足りない)。「頭の中で考えた」という説明は失礼な説明である。具体的に検討した結果やむを得ずこの工法になった??

<市民談義所の進め方について>

- ・市民と行政の議論意見はまとまらない。だから行政はどんどん事業を進めていき、市民は反発するのだと思う。毎回同じことの繰り返しの様な気がする。談義所は活かされているのか?
- ・今後ともこのやり方で進めてください。
- ・突堤に砂が付いていないとの意見が出ていたので、突堤の砂の状況について、一年を通した写真資料を作成してはどうか。
- ・ドローンの映像はわかりやすかった。干潮、満潮時の違いがわかればなお良いと思う。
- ・議論の時間が足りないし、的を外れた時の不良な時間が多いと思う。
- ・市民の減少が目にとまる
- ・次回のように土曜日の午後、もしくは日曜日の午後に3時間くらいかけて、議論が出来ればと思います。